



展覧会概要

台湾では、1960年代頃から伝統的な手工芸をベースに芸術としての陶芸が志されるようになり、海外の同時代作品が初めて一堂に会した1981年の中日現代陶芸作品展などをきっかけに、創造的な現代陶芸が花開きます。以来、台湾の陶芸シーンは欧米の現代美術の潮流、中国大陸の伝統的技術、日本の現代陶芸思想なども糧とし、多様な文化が織りなす重層的な社会を反映した、独自の発展を遂げてきました。

本展では、台湾の現代陶芸シーンの今を伝える造形的な作品から、独自の茶芸文化を反映した茶器類まで、躍進を続ける台湾現代陶芸の多面的な魅力を、台湾・新北市立鶯歌陶瓷博物館のコレクションを通じて紹介します。

展覧会情報

■ 会 期：2021年10月1日（金）～10月31日（日）

※緊急事態措置延長に伴い、当初会期（9/11～10/31）より開幕日を変更いたしました。

9/10更新

■ 休 館 日：10月18日（月）、10月25日（月）

（国際陶磁器フェスティバル美濃'21会期中（9月30日（木）～10月17日（日））は無休）

■ 開 館 時 間：10：00～18：00（最終入館17：30まで）

■ 会 場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1

■ 主 催：岐阜県現代陶芸美術館、岐阜新聞社 岐阜放送

■ 特別協力：新北市立鶯歌陶瓷博物館（台湾）

■ 協 賛：加藤智子氏

■ 観 覧 料：

	一般	大学生	シルバー
単館券（本展）	900円 (800円)*1	700円 (600円)*1	
前売券*2	700円	500円	
国際陶磁器フェスティバル 美濃'21* 共通入場券*3	1500円		1300円
国際陶磁器フェスティバル 美濃'21* 共通前売券*3	1200円		1200円
高校生以下無料 以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証			

*1（ ）内は団体料金

*2 岐阜県現代陶芸美術館受付にて販売中

*3 共通入場券及び共通前売券の詳細につきましては当館HPをご確認ください。

*国際陶磁器フェスティバル美濃'21の会期は9/30～10/17



楊文寛《刻紋彩陶經瓶》1995年



《蝦盤》1960年

見どころ

■台湾現代陶芸を体系的に紹介するはじめての展覧会

これまで日本では紹介の機会が少なかった台湾の現代陶芸シーン。本展は、台湾随一の陶磁器専門館である新北市立鶯歌陶瓷博物館のコレクションを通じて、その活気あふれる表現のすべてをご覧いただける貴重な機会となります。

■オブジェから茶器まで、多様な陶芸を通じて台湾文化にふれる。

台湾の多様で重層的な社会を反映した多彩な陶芸作品や、近年日本国内でも関心が高まっている独自の茶芸文化を示す茶器類まで、多面的な価値観や個人の特質を尊重する台湾文化を示す作品群が並びます。

■鶯歌と美濃、二つの「やきもののまち」が繋がります！

台湾を代表する陶磁器のまち「鶯歌」と日本有数の陶磁器産地である「多治見」。それぞれのやきもののまちで活動する陶磁器専門館の交流により実現した展覧会です。

※新北市立鶯歌陶瓷博物館と岐阜県現代陶芸美術館は文化交流協定を締結しており、本展はその交流事業の一環として開催するものです。

関連イベント

※緊急事態宣言延長に伴い、関連イベントの開催内容に一部変更があります。

■記念講演会

日時未定（後日配信予定）

台湾現代陶芸の流れとその多彩な独自性についてお話しいただきます。（日本語翻訳有）

講師：江淑玲氏（新北市立鶯歌陶瓷博物館学芸員）

■ライブ配信&講演「台湾一人観光局～鶯歌散歩～」

10月3日（日）14:00-15:30

台湾・新北市の鶯歌は、台湾有数の陶磁器産地。独自の文化をはぐくんできたその風土や、台湾の手仕事文化の魅力について、鶯歌のまちなかからの生中継でお話しいただきます。

講師：青木由香氏（エッセイスト）

■特別茶会「交種茶会／台湾」

10月23日（土）午前の部 11:00-12:00 / 午後の部 13:30-14:30

1970年代以降、独自の文化として発展してきた台湾茶。現代台湾の茶芸文化の成り立ちと日本の喫茶文化にふれる茶会です。

席主：安藤雅信氏（陶作家）

菓子：溝口実穂氏（菓子屋このつ）

定員：各回 10名

参加費：5,000円

要事前申込（電話のみ）[受付開始：9月25日（土）]

■「台湾現代陶芸の力」展 友の会特別鑑賞会

対象：岐阜県現代陶芸美術館友の会会員

参加には、岐阜県現代陶芸美術館友の会への入会が必要です（随時入会可）

要事前申込（電話またはフォーム）[受付開始：8月14日（土）]

■ギャラリートーク

当館学芸員が展示解説を行います。

10月17日（日）、10月24日（日）各日 14:00-

参加無料・事前申込不要・要観覧券（高校生以下は無料）



許偉斌《皮相》1998年



陳煥堂《嘆息的組曲》1983年



陳景亮《豆腐》2001年

各催事は新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、変更が生じる場合がございます。

最新の情報は当館 HP にてご確認ください。

お問い合わせ：岐阜県現代陶芸美術館（担当：学芸部 林）
〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパークMINO内）
TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101
HP: <https://www.cpm-gifu.jp/museum>
E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp

台湾現代陶芸の力

台湾・新北市立鶯歌陶瓷博物館所蔵品による

広報用写真 申込書

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

担当：林・野田

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『台湾現代陶芸の力 台湾・新北市立鶯歌陶瓷博物館所蔵品による』の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号までお申し込みください。
ご希望の写真にを入れてください。



《蝦盤》1960年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵



楊文霓《刻紋彩陶經瓶》1995年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵



陳景亮《豆腐》2001年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵



許偉斌《皮相》1998年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵



方柏欽《地景茶具組 2006 IV》2006年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵



陳煥堂《嘆息的組曲》1983年
新北市立鶯歌陶瓷博物館蔵

貴社名	(ご担当者)
ご住所 〒	
お電話	FAX
E-mail	
掲載媒体名	
題目	記載予定日
備考	

- 写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- 使用される場合は、上記キャプションをご明記ください。
- デジタル画像は全て jpg です。ご送付の手段については原則としてメール送信（画像サイズは1点 300~500KB程度）となります。
- 大きなサイズの画像がご入用の場合は、担当までご連絡ください。
- 内容確認のため、校正原稿をお送りください。
- ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いに存じます。

 **岐阜県現代陶芸美術館**
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu
〒507-0801 多治見市東町 4-2-5

TEL : 0572-28-3100
FAX : 0572-28-3101
展覧会担当 林
写真データ貸出 野田